

# 08 年末一時金回答速報！

11/5 回答指定日に各単組、ぞくぞく回答引き出す！

## コープしが労組

- ・ 正 規：2.60 ヶ月・746,347 円(昨年 2.67 ヶ月・771,341 円)
- ・ パート：1.08 ヶ月・88,005 円(昨年 1.15 ヶ月・96,158 円)

## ならコープパート労組

- ・ パート：0.60 ヶ月・71,670 円(昨 0.60 ヶ月+10000 円・78,145 円)

## 大阪大生協労組

- ・ 正 規：2.35 ヶ月(昨 3.05 ヶ月)
- ・ チーフパート：正規職員と類似の賞与支給算定の採用のために、正規職員に準じる登用制度と評価制度が必要になります。現時点ではまだ対応できません。
- ・ A 契約パート：「寸志」3,000 円～65,000 円(勤続 10 年以上は+ 一律 5000 円)
- ・ B 契約パート：「寸志」は支給しません。

## 大学京都・橘大支部

- ・ 正 規：2.10 ヶ月(昨 2.30 ヶ月)

よどがわパートの回答金額の訂正 (正) 105,168 円

### ～ 労働委員会民主化対策会議推薦の淀房子さん任命～ (以下「声明」より転載)

11/5(水)、政府・厚生労働省は第 30 期中央労働委員会の労働者委員に、労働委員会民主化対策会議が推薦していた淀房子(国公労連、日本医労連)さんを任命しました。非連合である私たちの推薦する候補者が初めて選任されるという、歴史的・画期的な成果をかちとることができました。この間の運動に参加・協力いただいた多くの労働組合と組合員のみなさん、弁護士、学者のみなさんに心よりのお礼を申し上げます。

労働委員会民主化対策会議は、民間企業担当の水久保文明(新聞労連)さんと特定独立法人担当の淀房子さんの両候補を先頭に、第 30 期中央労働委員会労働委員の公正任命を求める統一行動を旺盛に展開してきました。水久保さんが任命されなかったことは非常に残念ですが、連合独占の一角を突き崩した成果は、労働委員会の民主化、労働行政の民主化のたたかひの前進への歴史的な一歩を記すものとなります。

政府は全労連と連合というナショナルセンターが結成されて以降、連続 9 期 18 年にわたって連合委員のみの任命を取り続け、一貫して民主化対策会議の推薦候補を排除してきました。労働委員会民主化対策会議は 1989 年の結成以来、政府の不公正任命をただし、大衆運動と裁判闘争、ILO への提訴など、労働委員会民主化を求めるたたかひを積み重ねてきました。その前史である 1980 年からの純中立労組懇がすすめてきた歴史を重ねれば、約 30 年にのぼるたたかひの継続が、今回の任命に結実しています。

今回の中央労働委員会の任命とあわせて、10 月 10 日には、京都総評推薦者が労働者委員として任命されました。これにより、宮城、埼玉、千葉、東京、大阪、和歌山、京都、長野、高知の 9 都府県で非連合からの労働者委員が任命されるという到達点をつくりあげることとなりました。私たちのたたかひの到達点は、政府の非連合排除の姿勢を抜本的・民主的に転換させる運動への新たな局面を切り開きつつあります。

今回の任命は、新たな局面を切り開くものですが、政府の非連合排除の姿勢を根本的に転換させたとまでは言えません。労働委員会民主化対策会議は、第 31 期労働者委員の民間企業担当と特定独立法人担当の獲得、都道府県での労働者委員の獲得に向けてさらに運動を強化します。今回の歴史的・画期的な成果を土台として、多くの労働組合と力をあわせ、労働委員会の民主化、労働行政の民主化に向けたたたかひへの前進をはかる決意を表明します。

お願い 回答や動き、単組のとりのくみを書記局までお知らせ下さい。地連みんなの団結でたたかひましょう!